

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 01 16	中期総合計画主要施策番号		3 - 02		担当課	部・課	衛生部医療政策課		
事業名		助産師外来等施設・設備整備事業				内線		2621			
						E-mail		iry@pref.nagano.jp			
事業の概要等	事業の目的	助産師外来・院内助産所の開設促進を図るため、施設・設備整備に対して助成を行う。									
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 産科医師が不足し負担が大きくなっているなかで、妊産婦のニーズも多様化してきていることから、助産師外来・院内助産所への期待が高まっている。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 正常経過の妊婦の検診、正常産を産科医師が取り扱っているため、産科医師への負担が大きい。 現在の分娩は病院中心であるが、妊産婦のニーズが多様化している。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 助産師外来・院内助産所の開設を促進することにより、産科医師への負担を軽減し、地域の周産期医療提供体制を維持していくほか、妊産婦の多様なニーズに応えていく必要がある。									
		事業内容	助産師外来・院内助産所の施設・設備整備事業に対する補助 施設 補助率 0.33 (【国】0.33) 設備 補助率 2/3 (【国】1/3、【県】1/3)								
		実施期間	H20 ~	根拠法令等	医療提供体制施設整備補助金交付要綱・医療提供体制設備整備補助金交付要綱						
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	助産師外来・院内助産所の開設を促進することにより、産科医師の負担を軽減し、地域の周産期医療提供体制を維持するほか、妊産婦の多様なニーズに応える。		施設・設備整備事業を必要とする医療機関に対して助成する。			助産師外来を開始しようとする医療機関(2施設)に対して助成を行った。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要				
	最終予算額 (A)		千円		3,171	280	国庫・県単	国庫・県単			
	決 算 額 (B)		千円		3,170		実施方法	補助			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円		1,585	140	歳出節別	補助金:3,170			
	概 算 人件費	従事する職員数	人		0.10	0.10	内訳等				
	概算人件費 (C)		千円		715	715	(単位: 千円)				
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円		3,885	995						
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績				
	助産師外来開設施設数(新規)		施設	14	(6)20						
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明								
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	産科医師が減少し、産科医師への過重な負担を軽減する一方策として正常な分娩を担うことが出来る助産師外来への期待は高まってきている。				
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	課題の総括		・県内の医療機関でも、助産師外来への期待は高く、その開設に向けて県としても安心なお産を提供するうえでも、その開設を支援する必要がある。								